



今庄宿(南越前町)

また市民が主体となった花によるおもてなしや、あわら温泉女将の会の「唼酒師(きぎぎけし)」資格を活かして、まち歩きしながらの地酒の飲み比べなど、地域と一体



「湯のまち広場」に造られる足湯のイメージ(あわら市)

の整備、足湯を備えた「湯のまち広場」の整備などを進めています。

また、昭初期に敦賀で一番栄えた「博物館通り」では、核となる町屋3棟を改修し、地場産品を使った飲食店等が出店。10月のオープンを目指しています。さらに、石畳風の舗装や電線の地中化を進め、港町の雰囲気や漂う歴史的な街並みの再生を目指します。



改修する町家のイメージ(敦賀市)

敦賀市では、ノスタルジックな港町である金ヶ崎周辺において、赤レンガ倉庫2棟を活かし、「鉄道と港」をテーマとするジオラマの展示やレストラン、市民ギャラリーとして整備を進め、平成27年度のオープンを目指します。

**相互乗り入れで利便性を向上**

将来の新幹線開業の効果を活かすためには、地域交通も大切です。

☎ブランド営業課  
0776-20-0765  
☎交通まちづくり課  
0776-20-0723

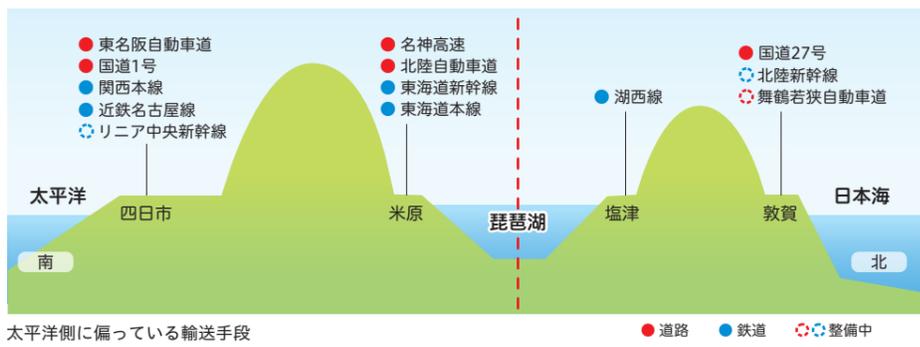
**知事コラム**

北陸新幹線は金沢開業を来年度に控え、一方では、福井市内で基準点測量が開始されるなど敦賀開業に向けた整備が着々と進められています。

北陸新幹線の敦賀開業や舞鶴若狭自動車道の全線開通、中部縦貫自動車道の整備促進などにより、今後10年余りで本県を取り巻く環境は大きく変化します。そのときに、本県の子どもたちがしっかり活躍できるよう、今から将来に向けたまちづくりを行い、本県をはじめとする地方が国を支えていく時代を創っていく必要があると考えています。



福井県知事 西川 一誠



太平洋側に偏っている輸送手段

東日本大震災を経験した我が国が、今後、地震等の自然災害に耐え得る強靱な国土を作っていくためには、日本海側の高速交通ネットワークを早期に完成させ、新たな国土軸を形成していく必要があります。

**求められる新たな国土軸**

日本列島のほぼ中央、琵琶湖の周辺は、最も国土が細く東西をつなぐ交通網が密集しています。特に敦賀と三重県四日市を結ぶライン

**新幹線沿線市町のまちづくり**

北陸新幹線の金沢開業、舞鶴若狭自動車道の全線開通、中部縦貫自動車道の福井北・松岡間の開通が来年



度中に実現するなど、県内の高速交通ネットワークの整備が着実に進められています。

これにより、福井県と首都圏、中京圏、関西圏の大都市圏との交通アクセスは格段に向上します。

このうち北陸新幹線においては、1年でも早い敦賀までの完成・開業を目指し、中心線測量や九頭竜川橋りょうの設計、新北陸トンネルの掘削工事などが進められます。

新幹線の開業は、各市町が観光や企業誘致などを進め、元気な地域を創る好機です。

まず福井市は県都としてその魅力を高め、ひいては、本県全体の都市力を向上させていく



県民会館跡地周辺の先行整備イメージ

必要があります。

そこで3月にまとめた「県都デザイン戦略」に基づき、今年度から、山里口御門の復元整備や城址との一体性を高める中央公園整備などを進め、次の50年、100年のまちづくりにつなげます。

県内最大の宿泊地であるあわら温泉では、宿泊者がまち歩きを楽しめるよう、歩道の石畳化やせせらぎ空間